



「新たな発見への一歩を」



32日間の夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。校舎や運動場も、子どもたちの登校を待っていたかのようです。

さて、この夏、私は浜松に行ってきました。これまで、車や新幹線で通り過ぎた場所を、電車に乗って通ってみました。すると、窓の外には田んぼの緑が広がり、その向こうには山々の美しい姿が見えました。川の流れや家々の様子もゆっくり眺めることができ、「こんなすてきな景色だったんだ」と、新たな発見がありました。

同じ場所でも、通り方が変わるだけで、これまで気付かなかったことに出会えるものです。子どもたちにも、日頃当たり前と思っていることの中に、新しい発見や学びを見つけてほしいと思います。友達のよいところ、自分の成長、地域の自然や人々の温かさなど、身近なところにたくさんの宝物があります。

夏休みに経験したことや感じたことを大切にしながら、これから始まる学校生活でも様々なことに興味を持ち、挑戦してほしいと思います。教職員一同、子どもたち一人一人の成長を支えながら、実り多い毎日になるよう努めてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様には、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

7・8月のできごと



6年生の梅のしそ漬

4年生の竹灯籠づくり

2年生の梅パーティー

なーちゃんの会の読み聞かせ

神戸地区夏まつり

4年生が作った竹灯籠を夏祭りで灯しました！

このほかにも、神戸地区まちづくり協議会福祉推進会・まちセン de 実行委員会主催の「神戸地区ホッともと広場」や、「まちセン de サマワーク」「まちセン de 交流会」、「曼陀羅祭典」等、コミュニティを広げたり、地域の伝統芸能を知ったりする催しがありました。地域の皆様には、子どもたちが楽しめる機会をたくさん作っていただき、本当に感謝しております。

今宮火祭り 今年は二分の一成人式は3名！ 教頭先生も松明振りに初挑戦！